

# あそびのししぴ



- 【人数】10人以上  
【場所】どこでも  
【道具】ビニールの刀  
【遊び方】

①前方に立つ指導者は、武芸者となって刀を腰に構える。参加者は武芸者の前に並ぶ。

②武芸者は刀の柄に手を置いて「頼もおーっ」と大きな声で言う。参加者は「おーっ！」と答える。

③武芸者は「シャキン」と言っけて刀を抜き、ビニールの刀を構える。そして、参加者の上空を右から左へ刀を振る。参加者はそれに合わせてしゃがみ込む。

④武芸者が「シャキン」と言っけて参加者の足元を刀で振れば、参加者はそれに合わせて軽くジャンプ。

⑤間違っけた動作をした人は、その場に座る。武芸者は、4～6回刀を振ったら「峰打ちじゃ」と言っけて刀を納める。そうすると、今まで座っていた人たちは再び立ち上がってゲームに参加できる。

⑥武芸者が刀を縦に振り下ろしたときは、白刃取りとして参加者は頭上で手を合わせる。場所や時を無視して急に「頼もう」と遊んでも楽しい。

## 頼もう

近ごろ、子どもたちと一緒  
に遊ぶ中で、間違っけたことを  
しても「間違えた」と素直に  
言えない子どもが増えてきた  
ように思います。今回は、「誰  
も見ていないし、何も言われ  
ないから適当にごまかそう」  
というのではなく、自分自身  
に素直になれる遊びです。

たとえ間違えたとしても、

誰もそれを追及したりしない  
し、自分だけでなくみんなが  
間違える。間違っけたときでも、  
素直に「間違えた」と言える  
ような明るく楽しい環境の中  
で、素直な心をはぐくんでみ  
ませんか。

## 抜いた刀に素早く反応

九州あそびの研究所・中島宏所長  
問い合わせは092 (882) 0363